

農林水産大臣賞

定時・定量・定質による共同出荷の推進

RO/RO船活用してスギ材を県外出荷

O'wood共同出荷推進協議会（代表者 会長 岡村 博之）

□事業体の構成

構成員 28名：大分県、大分県木材共同組合連合会、大分県森林組合連合会、
大分県共同海運株式会社、森林組合7、木材協同組合16、製材工場1

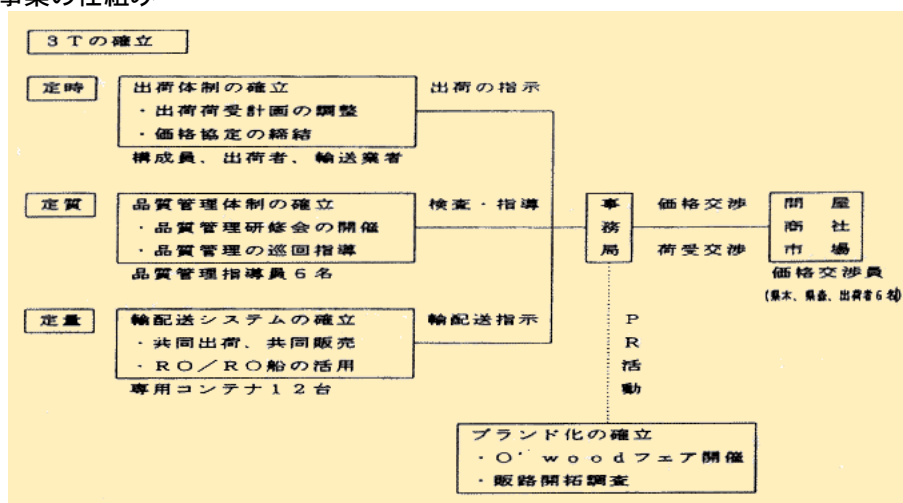
出荷者 31名：森林組合8、製材工場23

〒870-0004 大分市王子港町1-17

TEL 0975-33-8778 FAX 0975-33-2997



□事業の仕組み



1 地域の概要

本県は、県土の73%が森林の林業県であり、特にスギの蓄積は全国トップクラスにある。これらの森林から産出される木材は、大半が製材用材であり、製材品の65%が県外へ出荷されている。今後、増大するスギ材の県外消費地への出荷量拡大が、本県の林業・木材産業の最重要課題となっている。

2 事業内容等

(1) 事業の目的

品質管理された県産製材品O'woodを県外消費地に安全的かつ円滑に供給することにより県産材の需要拡大を図り、林業、林産業の振興に資することを目的とする。

(2) 事業の内容

定時出荷……出荷荷受計画の調整、価格協定の締結

定質出荷……品質管理研修会の開催、品質管理指導員による巡回指導

定量出荷……共同出荷、協同販売、RO/RO船の活用

販路拡大……フェア開催、市場調査など販路開拓調査

(3) 施設の整備状況

事務所：ウッドプラザ大分内

専用コンテナ：RO／RO船の専用コンテナ12台

(4) 事業の実績

種別	平成6年度		平成7年度		平成8年度		摘要
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
共同出荷量 (m ³)	10,000	7,268	20,000	14,434	30,000	26,899	
体制整備・普及							
研修会開催 (回)	3	3	3	3	1	1	
巡回指導 (回)	24	24	18	18	20	20	
フェア開催等 (回)	11	11	2	2	4	4	
コンテナ導入 (回)	10	10	2	2	5	0	

(5) 事業の成果（事業体の評価）

木材協同組合系統と森林組合系統とが連携してスタートしたO'wood共同出荷推進協議会も発足して3年が経過した。出荷者指導や各種のPR事業を展開しながら、O'woodの品質は向上し、確実にブランド化が確立されつつあり、共同出荷の取扱量も年々着実に増加してきた。

(6) 今後の取り組み

木材需要の低迷する厳しい状況の中で、平成9年度4万m³、平成10年度5万m³の出荷目標を達成するため、乾燥材やスギ桁材など新たな製品出荷を試みるとともに、市場開拓調査等により新規荷受者を開拓していく必要がある。また、生産コストや輸送コストを低減するため、生産体制の再構築と輸配送ロットの一層の拡大を図らねばならない。

さらに、これまでの県外共同出荷に加えて、県内における木造住宅建設を促進するため実施される「おおいたの家21」に安定供給できる体制を構築する。